



医政局長賞
優秀賞

プロジェクト

【中学・高校生の若者へ】医療系学生による 人体や医療についての出張/オンライン授業

受賞者

MedYou Labo

所在地 〒420-0881 静岡県静岡市葵区北安東3-28-11 ラピスフルーメン106 電話 090-6958-1091

URL <https://www.medyoulabo.org/> E-mail medyou.labo@gmail.com

取組の経緯

中高生へ正しい医療情報を届けたい

実習や自らの受療経験を通じて医療現場を体験した医療系学生が、中学生・高校生(以下中高生)の目線にたち、次の2つの目的をもって出張授業を立ち上げた。

- ① 中高生に正しい医療知識、特に緊急時の対応を身につけてもらい、その後の人生で役立ててもらうこと
- ② 医療に関心を持ってもらい、自分の体について主体的に考え決める姿勢を身につけてもらうこと

本企画を通して、患者にも人体や医療について正しく調べる力を養ってもらうことで、医療者患者間に信頼関係が構築され、医療現場の負担が軽減されると考えている。

2020年春、COVID-19の感染者が急増し医療提供体制の逼迫が問題となった。若くは不正確な情報が見られたことから感染症についてのオンライン授業も行った。



事業の概要と特徴

体を使って実のある授業に

- ① 中学・高校への出張授業(2019年2月~現在:のべ12回)

内容:救急症例に対する応急処置をゲーム形式で学ぶワークショップと人体の解剖や医療機関の適切な受診方法などについての講義

- ② 新型コロナウイルスについてのオンライン授業(2020年4月~5月:計3回)

内容:新型コロナウイルスの基本的知識・感染対策の説明、医療崩壊についてのワークショップ、中高生の質問に答えるコーナー

本取り組みは、医学部、看護学部、薬学部、検査科、放射線専攻など、多様な学部の大学生が運営に携わっている。参加した中高生に“楽しんで正しい知識を得てもらう”ことを第一に、授業内容を考案している。具体的には、創傷メイクやAEDシミュレーターを用いて救急の現場にいることを体感してもらったり、考えたこと・知ったことを実際に体に動かして実践してもらったり、理解しやすい説明を取り入れたり、病気の機序のみならず重症度の判断方法や適切な医療情報の調べ方も説明するなどの工夫をしている。授業後のアンケートでは毎回高い満足度を得ており、繰り返し参加してくれる高校生も少なくない。加えて、本授業はスタッフとして関わる大学生の学習意欲の向上や医学知識の深い理解にも寄与しており、中高生と大学生の双方にとって良い影響を与えている。



医療のかかり方を変えていくポイント

若い世代から変えていく、医療のかかり方

急なけがや病気に遭遇した際、焦らず適切な初期対応を行うことができれば、患者の命が助かる可能性が高くなる。救急車を呼ぶべきか否か、救急外来を受診すべきなのかについても判断できる知識を多くの人が持っていることで、無用な受診を減らすと同時に、逆に軽く見えても実は重症な患者が適切に医療機関を受診することができるようになる。健康で、自分の体について考える機会が少ないであろう中高生をターゲットとし、若いうちから医療に関心をもってもらうことで、いざ医療サービスを必要とする状況になった際に適切な機関に相談できるだろう。また、デジタルネイティブ世代の彼らがネットやSNS上の誤った情報に惑わされることを防ぐこともできる。さらに、若者のヘルスリテラシーを向上させることは患者医療者間のコミュニケーションの円滑化につながり、医療者側の一方的な医療行為の押しつけや、患者側が抱く医療への不安や不満も少なくなるだろう。

